

あおもり市議会だより

ぎかいの森

令和元年第4回定例会の内容を
わかりやすく 市民の皆さんにお伝えします

Vol. 12

令和2年2月

特

集

大 学 生

in あ お も り

目 次

特集	P 2
議決した主な議案	P 4
こんなことを聞きました。	P 5
トピックス	P 16

今回参加いただいた学生の皆さんです



さわだ かいと
澤田海翔さん
経営法学部3年。
青森市出身。
夏はJRでねぶた
囃子をしている
とのこと。



あべひろむ
阿部広夢さん
経営法学部3年。
青森市出身。
現在の趣味は乗
馬だそうです。



いせはるき
伊勢明樹さん
経営法学部3年。
八戸市出身。
高校まで陸上の
短距離を頑張っ
てきたとのこと
です。



うわみちゆき
上道侑希さん
経営法学部3年。
青森市出身。
現在の趣味は三
味線だそうです。

〔伊勢さん〕

私は地元から1回外に

し、今はとても満足しています。

たのですが、実家からも通えます

〔阿部さん〕

私は実は滑りどめだっ

(笑)。阿部さんは。

〔議員〕

何だか面接みたいですね

うになり、地域に貢献したいと：

方の視点から物事を考えられるよ

〔澤田さん〕

私は経営学と法学の両

らお聞きしたいと思います。

んがなぜこの大学を選んだのかか

す。まずは自己紹介も兼ね、皆さ

〔議員〕

本日はよろしくお願いま

特

集

大 学 生

in あ お も り

今回の特集記事のテーマは「大学生」です。市内には、大学・短期大学が6校ありますが、今回は、令和元年5月10日に開催した青森市議会基本条例の研修会で講師を務めていただいたほか、本市議会の「議員とカダる会」の開催に当たってもたくさんのアドバイスをいただいている青森中央学院大学の佐藤淳准教授のゼミの学生の皆さんに協力をいただき、座談会を行いました。学生生活の悩みや今後の青森市についてなど、さまざまなお話を伺ってきましたので、その内容をお届けします。

出たい気持ちが強かったので、この大学を選びました。

〔上道さん〕

私は国際交流が盛んだ

と聞いて、この大学を選びました。

〔議員〕

それでは、学生生活で大変

だと思うことは何ですか。

〔上道さん〕

大学は自分で授業を組

むので、スケジュール管理が大変

です。あと、冬場の通学の際、バ

スがいっ来るか分からないのが不

便だと思います。

〔伊勢さん〕

私は時間をどう生かす

かが悩みです。今は駅前商店街を

活性化する活動に結構時間を使っ

ていますが、海外留学する人もい

ますし、人それぞれですからね。

〔阿部さん〕

私は人と比較してしま

うのが悩みです。伊勢君のような

活動はできていないので(笑)。

〔澤田さん〕

私は冬場の通学の際、

環状線が渋滞するのが悩みです。

〔議員〕

ありがとうございます。そ

れでは大学を出て、社会人になつたらどんなことをしたいですか。

〔澤田さん〕 私はＪＲに就職して、ＪＲの立場で青森駅周辺の活性化に貢献したいです。

〔阿部さん〕 私は地域に密着しながら人の役に立てる警察官になりたいです。格好いいですし（笑）。

〔伊勢さん〕 私は今の活動の延長で、商店街のにぎわいづくりのための活動に加わっていききたいです。

〔上道さん〕 私は市役所の職員のように、市民の生活の当たり前を支えられる仕事につきたいです。

〔議員〕 □ききはできませんが応援しています（笑）。次に、議員のイメージについてはどうですか。

〔澤田さん〕 議員さんの活動については正直わからないので、もっと交流できる場があればと。

〔阿部さん〕 私も同じ感想ですが、今話してみて、議員さんはオーラ

がすごいですね（笑）。

〔議員〕 オーラ、ありますかね（笑）。伊勢さんはどうですか。

〔伊勢さん〕 議員さんが仕事以外のことをユーチューブ等で発信して見るのも、ふだんと違う一面も見えて、好感も持てると思います。

〔上道さん〕 私は議員さんをもっとＳＮＳを活用すれば、若者の関心も向くのかなと思っています。

〔議員〕 参考になります。最後、どんな青森市になってほしいですか。

〔澤田さん〕 食べ物はおいしいのですが、友達と遊びに行くところがないので、ふやしてほしいです。

〔阿部さん〕 やはり青森駅前が閑散としているのが寂しいですね。仙台ぐらいにぎやかになれば。

〔伊勢さん〕 私は学生と商店街のつながりができれば、駅前ももっと盛り上がると思います。

〔上道さん〕 私も駅前が閑散として

いるのが残念で、弘前の土手町のようにラジオがかかっているとか、何か音が欲しいなと思います。

〔議員〕 駅前の話が多く出ましたが、いろいろな提案もあり、今後も若い人の力に期待したいと思わせてくれる座談会でした。本日はありがとうございました。



座談会を終えて。終始和やかな座談会となりました。
青森中央学院大学の皆様、御協力まことにありがとうございました。

青森市議会で

議決した主な議案です。

令和元年第4回定例会

会期27日間 11月28日～12月24日

第4回定例会で可決等した

議案・請願等

市長提出議案43件中……………43件

(可決41件、同意2件)

議員提出議案7件中……………6件

(可決)

諮問6件中……………6件

(棄却すべきと答申)

請願3件中……………0件

(採択 ※1件は継続審査)

■ 以上の中から主なものをお知らせします。なお、全ての議案名と結果は、市議会ホームページでご覧いただくか、議会事務局へお問い合わせください。

その1

令和元年度12月補正予算案を可決しました

今期定例会では、予算に関する議案として一般会計を初め計17件の補正予算案が提案されました。

一般会計補正予算案については、石江土地区画整理事業一般保留地2区画が事業決定したことに伴う助成金(2億4千775万1千円)、給与改定等による人件費の調整(2億2千563万2千円)、などについて増額補正を行うものとなっています。

市議会では、これら議案について原案のとおり可決し、補正後の令和元年度青森市一般会計予算は次のとおりとなりました。

令和元年度青森市一般会計

補正予算額

7億5千685万

1千円

補正後の予算額

1千296億5千

606万5千円



石江地区一般保留地⑧で事業決定した施設のイメージ

その2

手話言語条例案を

可決しました

● 青森市手話言語の普及及び多様な意思疎通の促進に関する条例の制定について

今期定例会では、手話が言語であることの普及及び多様な意思疎通の促進に関する基本理念を定め、障がいの有無によって分け隔たれることなく互いに尊重し支え合う、共生社会の実現を図ることを目的とした本条例案が提案され、市議会では全会一致で原案のとおり可決しました。



議決後、議場にて記念撮影を行いました。

その3

「連携中枢都市圏の形成に係る連携協約の締結」に係る議案を可決しました

今期定例会では、本市と東津軽郡4町村との間において、連携中枢都市圏の形成に係る連携協約を

こんなことを聞きました。

質問・質疑

締結することについて協議するための議案4件が提案されました。連携中枢都市圏は、人口減少・少子高齢社会にあっても地域経済が持続可能なものとなるよう、市町村がさまざまな分野で連携した取り組みを進めるものです。

市議会では同議案について、起立採決の結果、賛成多数で原案のとおり可決しました。



第4回定例会において行われた、一般質問、予算特別委員会の質疑の中から、一議員につき一項目の質問・質疑及び答弁の要旨を掲載しています。

※所属会派名は質問・質疑時のものです。

●質問・質疑を行った議員・委員数

第4回定例会
一般質問 26名
予算特別委員会 20名

総務



公文書の管理について

市民の声あもり 藤田 誠
ふじた まこと

Q 公文書の管理については、文書改ざんや文書の廃棄の観点からデジタル保存を基本とすべきと思いますが、市の考えをお示しくください。

A 市では、これまで文書管理システムの導入等、文書管理の電子化を進めてきていますが、条例に関する文書等は市の規程に基づき紙で保存しているところです。国では平成31年3月、行政文書の電子的管理についての基本的な方針を定める国の行政機関に示していますが、市でも本方針等を参考に、引き続き文書管理の電子化について検討していきたいと考えています。

総務



協力雇用主への優遇措置について

自由民主党 小豆畑 緑
あずはた みどり

Q 協力雇用主とは、かつて犯罪や非行をした人を雇用し立ち直りを助ける民間の方々ですが、市発注の公共工事において協力雇用主に対する優遇措置を新たに導入できないか、市の考えをお示しくください。

A 市では、協力雇用主は更生保護等の推進に大きく貢献していると認識しており、他都市の状況等を踏まえ、4月から適用となる令和2・3年度工事種類別の等級の決定に当たり、青森保護観察所に登録している協力雇用主に5点を加算することとしました。これは、県内初の取り組みとなります。

青色は、総務企画常任委員会に関連する質問・質疑です。

防 災



災害時における人工透析患者の避難対応について

自民・志政会 丸野 達夫
まるの たつお

Q 人工透析患者の方から、最近は大災害が多く、避難先での透析が可能なのかと不安の声が寄せられています。災害時における避難の流れをお示しください。

A 人工透析患者の方の避難については、まずは一般の避難者と同様、最寄りの指定避難所へ避難いただくこととなりますが、避難所へ滞っている間に透析が必要な状況となった場合、また、自力での移動が困難な場合には、避難所配置職員等が救急車を要請したり、災害対策本部の公用車等により医療機関へ移動することとなります。



青森市急病センターの案内表示について

市民クラブ 奈良 祥孝
なら しょうこう

Q 令和元年10月、市役所第3庁舎に移転しリニューアルした青森市急病センターは、案内表示が小さく夜間は全く見えないなど、入り口への案内がわかりづらいと思いますが、市の対応をお示しください。

庁 舎

A 市では、議員御指摘のような御意見もいただいていることから、急病センターの位置が遠くからでもわかるよう、建物上階の壁面へのサイン設置や入り口までわかりやすく案内するためのサイン表示を行うなど、市民の皆様がより利用しやすいような対応を年度内に行うこととしています。



国道側からの急病センター棟。案内表示が小さく見えません。



新市庁舎に係る物品の入札について

市民の声あおもり 中村 美津緒
なかむら みつお

Q 令和元年9月3日執行の新市庁舎の物品の入札では、当初約1千270万円で落札した業者が失格となり、再入札で別の業者が約1千520万円で落札したため、約250万円市民の税金が多く支出されることとなりました。当初落札した業者が提示した製品は、市が示した参考商品とメーカーが異なる以外全く同じ仕様のため、この結果に納得できませんが、見解をお示しください。

庁 舎

A 当該入札では、当初落札した業者が参考商品と同等品である承認を入札前に得ていなかったため、契約辞退の申し出があったものです。

広域連携

興、子育て支援等44の具体的事業に取り組みたいと考えています。



圏域の愛称は「青森都市圏 ONE TEAM」となりました。

A

市では令和元年11月18日、圏域の活力ある社会経済の維持等のため、本市が中心となり圏域を構成する

平内町、今別町、外ヶ浜町、蓬田村とスクラムを組む「連携中枢都市宣言」を行いました。今後は年

内に各町村と連携協約を締結、年度内に青森圏域連携中枢都市圏ビジョンを策定し、来年度からは当

該ビジョンに基づき産業・観光振興、子育て支援

等44の具体的事業に取り組みたいと考えています。

Q

青森圏域における連携中枢都市圏の形成に係る今後のスケジュールについてお示しください。



青森圏域における連携中枢都市圏の形成について

自民・志政会 神山 昌則

市民生活

等により遺族の負担軽減を図りたいと考えています。



駅前庁舎1階の総合窓口

A

専用窓口の設置には、スペースの確保、人員の増や体制の見直し、

システム改修等の課題があるため現段階では設置は考えていません

が、駅前庁舎の総合窓口の開設により死亡に伴う手続のうち41項目

はワンフロアで済む配置としており、このほかフロアマネジャーに

よる支援・案内等により遺族の負担軽減を図りたいと考えています。

Q

遺族の負担軽減のため、お悔やみ専用窓口を設置する自治体がある一方で、本市でも設置に向けてぜひ検討いただきたいと考えますが、見解をお示しください。



お悔やみ専用窓口の設置について

無所属 橋本 尚美

市民生活

市では、消費者からの事業者等に対する苦情や相談等に的確に対応するため、駅前庁舎1階に青森市民消費生活センターを設置しているほか、被害の未然防止のため、回覧板による相談事例等の周知、チラシによる注意喚起を行っており、加えて平成29年度から、高齢者等が困りの際に適切な相談窓口を紹介する青森市相談窓口紹介ネットワークを構築しています。



駅前庁舎1階の青森市民消費生活センター

A

市では、消費者からの事業者等に対する苦情や相談等に的確に対応するため、駅前庁舎1階に青森市民消費生活センターを設置しているほか、被害の未然防止のため、回覧板による相談事例等の周知、

チラシによる注意喚起を行っており、加えて平成29年度から、高齢者等が困りの際に適切な相談窓口を紹介する青森市相談窓口紹介

ネットワークを構築しています。

市では、消費者からの事業者等に対する苦情や相談等に的確に対応するため、駅前庁舎1階に青森市民消費生活センターを設置しているほか、被害の未然防止のため、回覧板による相談事例等の周知、

Q

ジャパンライフ株式会社などによるマルチ商法の被害を防ぐため、市ではどのような取り組みを行っているのかお示しください。



マルチ商法対策について

日本共産党 万徳 なお子

緑色は、文教経済常任委員会に関連する質問・質疑です。

斎場

市斎場は、火葬炉機能の維持や老朽施設改修のための大規模改修をおおむね10年ごとに、直近では平成28年度、平成29年度の2力年にわたり行ってきたているほか、毎年度定期的に火葬炉の保守点検等を行っているとあります。また、火葬が集中した際の三次火葬体制の実施や市斎場及び浪岡斎園の連携により当面は対応可能と考えており、現段階においては建てかえの検討は行っていないところです。



青森市斎場

市斎場は供用開始から47年が経過していますが、建てかえに係る市の見解をお示しください。



青森市斎場の建てかえについて

自由民主党 おおや 大矢 保

アリーナプロジェクト

市では、有識者や障がい者団体からの意見等を踏まえ、当該案には、障がい者スポーツ用具等の備品、障がい者に配慮した誘導表示や点字案内、車椅子の方が利用しやすい観覧席・エレベーター・駐車スペースの設置、配置について記載しており、アリーナが障がい者に優しい施設となることにより、誰もが安心して利用できる施設につながるものと考えています。

先般公表されたアリーナプロジェクトに係る要求水準書案における、障がい者への対応についての記載内容をお示しください。



アリーナの障がい者への対応について

自由民主党 やまもと 山本 治男

アリーナプロジェクト

市では、平成31年3月に決定した青森操車場跡地利用計画において、東側・西側用地と幹線道路との接続を検討するとしており、その接続に当たっては、公有地を中心に検討を進めたいと考えています。

市は以前、アリーナ自体の整備費に約67億円、道路の拡幅等周辺整備に約31億円、計約98億円と答弁していますが、東側・西側用地と幹線道路との接続には、道路状況を考えると民有地の買収が不可欠なため、事業費はさらに膨らむと考えます。このことに対する市の見解をお示しください。



アリーナ東側用地との接続が検討されている主要地方道青森浪岡線



アリーナ周辺の道路整備について

日本共産党 やまのき 山脇 智

スポーツ

第1回あおり桜マラソンは、フルマラソンをメインとした県内最大規模のマラソン大会として令和2年4月19日(日)に開催することとしました。なお、フルマラソン、ハーフマラソンは日本陸上競技連盟の公認取得を予定しており、同日開催予定のマエダ桜まつり健康マラソン大会と合わせ、全体で7千人程度の募集を予定しています。

第1回あおり桜マラソン参加者募集中!



Q 来年度開催が予定されている第1回桜マラソンについては、先日実行委員会が設立されるなど準備が本格化していると思いますが、その概要をお示しください。

A

第1回あおり桜マラソンは、フルマラソンをメインとした県内最大規模のマラソン大会として令和2年4月19日(日)に開催することとしました。なお、フルマラソン、ハーフマラソンは日本陸上競技連盟の公認取得を予定しており、同日開催予定のマエ



あおり桜マラソンの概要について

無所属 山崎 翔一
やまざき りゅういち

教育

学校等10校、中学校は古川中学校等8校で改修工事を行うこととしており、今後とも計画的に取り組んでいきたいと考えています。



今年度洋式化した学校トイレ

Q 学校のトイレの洋式化改修について、今年度の取り組み状況と今後の計画についてお示しください。

A

市教育委員会では、生活スタイルの変化に伴い洋式化のニーズが高まっていることを受け、子どもたちが快適な学校生活を送れるよう、既存の老朽化した学校トイレについて、洋式化を中心とした改修にいます。今年度は、小学校は浦町小学校等10校、中学校は古川中学校等8校で改修工事を行うこととしており、今後とも計画的に取り組んでいきたいと考えています。



学校のトイレの改修事業について

日本共産党 藤原 浩平
ふじわら こうへい

教育

除雪協力会に対し、除雪機の貸与を行っています。



登校中の子どもたちの様子
(新城地区)

Q 昨今、登下校中の児童・生徒の交通事故が相次ぐ中、冬期間における通学路の安全対策が一層求められると考えますが、市教育委員会の取り組みをお知らせください。

A

市教育委員会では、国・県・市の道路管理者、警察等23の関係機関から成る青森市通学路安全推進会議において、学校からの除雪要望に基づいた除雪計画を作成し、関係者間で除排雪スケジュールを共有しながら冬期間の通学路の安全確保に努めているほか、学校・地域等で結成する除雪協力会に対し、除雪機の貸与を行っています。



冬期間の通学路の安全対策について

自民・志政会 木戸 喜美男
きど きみお

教 育



通学区域再編について

市民の声あおり
奥谷 進おくや すむ

Q 本市には、令和2年4月に統合する奥内小学校等3校以外にも複式学級を有する小学校がありますが、教育環境の充実のため、早急な対応が必要と考えます。今後の通学区域再編に係る市教育委員会の考えをお示しください。

A 市教育委員会では、当該3校以外に複式学級を有する小学校5校でも、PTAと教育環境に係る話し合いを行っており、今後も当該5校と全学年単学級の中学校を最優先に、保護者や地域の皆様との緊密な連絡のもと、通学区域再編に継続的に取り組んでまいります。

教 育



教員の働き方改革について

公明党
渡部 伸広わたなべ のぶひろ

Q 教員の不祥事の根絶には、教師としての誇りを取り戻すための自己研さんの機会を保障し、教師自身の自己効力感を高めるなどこれまでの時短の発想とは異なる働き方改革が不可欠と考えますが、市教育委員会の見解をお示しください。

A 市教育委員会では、教師としての誇りは、日々の指導により児童・生徒、保護者等の信頼を得る中で、また研修等でみずからの資質向上を図る中で得られると考えており、今後も働き方改革を推進し、教職員がみんなで考える場や時間を確保できるよう指導してまいります。

教 育



教員の働き方改革について

日本共産党
村川 みどりむらかわ みどり

Q 国において、公立学校に変形労働時間制を導入する法案が令和元年12月4日可決されました。全国的に多くの教員が長時間勤務等により精神疾患で休職に追い込まれている中、本制度は導入不要と考えますが、本市教職員で超過勤務が月45時間を超える者と精神疾患による休職者の数を示してください。

A 超過勤務が月45時間を超える教職員は、今年度、繁忙期の5月では小学校150名、中学校278名となっています。また、精神疾患による休職者数は、現在小学校2名、中学校1名となっています。

教 育

なるなど、「主体的・対話的で深い学び」の実現に資するものと考えています。



2 in 1 パソコンを活用した
授業風景

A

市教育委員会では、このパソコン

Q 「主体的・対話的で深い学び」を実現するため、市教育委員会では、今年度全小・中学校に導入した2 in 1 パソコンをどのように活用していくのかお示しください。



2 in 1 パソコンの
活用について

公明党 山本 武朝
やまもと たけとも

文 化

具体的な取り組みを検討していきたいと考えています。



本市で世界遺産登録を進めている小牧野遺跡

A

市教育委員会では、令和元年7月

Q 北海道・北東北の縄文遺跡群の世界遺産登録に係る市教育委員会の取り組みをお示しください。



世界遺産登録に係る
取り組みについて

市民クラブ 工藤 健
くどう けん

都市計画

A 市では、同プランについて、平成30年度から新たなプランの策定に着手したところですが、策定に当たっては、市街化調整区域を含めた各地域の実情を踏まえながら、地域コミュニティの維持、活性化等の観点からも検討していきたいと考えています。

Q

市南部の荒川、高田地区等は市街化調整区域にあり、人口が減少しているため、これを食いとめるためにも、都市計画マスタープランの見直しに当たり、市街化調整区域の見直しが必要と考えますが、市の考えをお示しください。



市街化調整区域について

自民・志政会 渋谷 勲
しやが けん

橙色は、都市建設常任委員会に関連する質問・質疑です。

道 路



雪のため車道を歩かざるを得ない岡田橋

A 市では、歩行者及び自転車の交通安全を確保する観点から、岡田橋への歩道橋の設置は必要と考えています。このため、平成28年度から地質調査、河川測量、橋梁形式を選定する予備設計を実施しており、今年度は、橋脚の設置予定箇所の地質調査を実施しています。

Q 岡田橋は、歩道がないために歩行者や自転車が歩道にはみ出る形で通行しており、大変危険な状況です。スピード感を持った歩道橋の設置が多くの住民から求められています。岡田橋への歩道橋設置の進捗状況をお示しください。



岡田橋への歩道橋設置の
進捗状況について

日本共産党

赤平

勇人

除排雪

市では、冬期間の安全な交通の確保には地域団体等とのパートナーシップによる除雪の仕組みの構築が重要と考え、平成30年度に学生の除雪ボランティア活動の活性化を図るため町会の除雪活動への参加を促した結果、横内町会において学生等による当該活動に係る実行委員会が組織され、今年度は同様の取り組みを展開しようとする地域を支援する予定としています。



横内町会冬期通学路等除雪事業
実行委員会の皆さん

Q 高齢化等により地域における自主的な雪処理の担い手が著しく減っている中、その育成・確保に向けた市の考えをお示しください。



地域における雪処理の
担い手について

自由民主党

中田

靖人

除排雪

A 市では、歩道については凍結防止剤の散布は行っていないものの、町会等の協力を得ながら部分的に凍結防止剤を散布し、凍結対策を実施している箇所もあるため、当該歩道についても同様に実施できないか検討したいと考えています。



凍結している古川跨線橋下歩道

Q 浪館通りから青森駅に向かう古川跨線橋下の歩道は、トンネル内につき日陰であり、風の影響等も重なることで冬期間は凍結、アイスバーン化し、駅の利用者を含め、往来する市民にとって大変危険な状況になっていますが、凍結防止に係る市の対策をお示しください。



古川跨線橋下の歩道の
凍結対策について

自民・志政会

舘山

善也

除排雪

A 市では、当該事業に昨年度から着手しており、取水箇所の検討や概略での整備路線の調査を行ったところ。今年度は6月から整備に向けた測量を実施しており、令和2年3月までに完了の予定としているほか、令和元年12月10日には関係町会長等を対象に、当該事業の概要等に係る説明会を開催したところです。来年度以降のスケジュールについては、測量成果等を踏まえ検討を進めてまいります。



篠田地区融流雪溝
整備事業について

自民・志政会 中村 節雄
なかむら せつお

Q 篠田地区融流雪溝整備事業に係る現在までの進捗状況と今後の整備スケジュールをお示しください。

交通

A 市交通部では、ドライブレコーダーの導入は、交通トラブルへの対策強化や車内の防犯性の向上等が期待されると認識しています。市営バスは、安全・安心な輸送サービスの提供が第一でありますので、その対策については来年度の予算編成の中で検討してまいります。



市営バスへのドライブレ
コーダーの導入について

市民クラブ 秋村 光男
あきむら みつお

Q 全国19の公営交通事業者のうち、本市を除く全事業者で乗り合いバスにドライブレコーダーを導入しているとのことであり、あり運転等のトラブルへの対策として市営バスに導入すべきと考えますが、市交通部の見解をお示しください。

ごみ処理

A 市では、スプレー缶等の排出方法について総合的に検討した結果、事故防止や資源化の促進等の効果が期待されるため、令和2年4月1日以降、青森地区においては中身を使い切った上で穴をあけずに排出してもらうことに変更することとしました。当該変更については、今後市民、町会、業者に対し、しっかりと周知してまいります。



スプレー缶等の排出方法
について

市民の声あおり 奈良岡 隆
ならおか たけし

Q 平成30年第4回定例会において、スプレー缶等の排出方法については穴をあけず廃棄する方法とするよう要望しましたが、その後の市の取り組み状況をお示しください。

赤色は、民生環境常任委員会に関連する質問・質疑です。

ごみ処理

A

現在、両地区のごみ出しについては、家庭系ごみの出し方、その他のプラスチックの収集回数、粗大ごみの収集運搬方法等が異なっており、市ではこれらについて、統一化が必要と考えています。



青森市清掃工場

Q

浪岡地区のごみ処理を行っている黒石地区清掃施設のごみ処理施設が令和8年に廃止となることを受け、市では同地区のごみを青森市清掃工場で処理するため、ごみの減量化を進め、青森地区・浪岡地区のごみ出しルールの統一化を図ることですが、この統一化の具体的な内容をお示しください。



ごみ出しルールの
統一化について

市民クラブ 竹山 美虎
たけやま よしとら

福祉

A

当該施設は令和元年10月から着工しており、1部屋当たり80・55平米、約40人収容可能で可動式の間仕切りによりさまざまな用途に使用できる教室を5部屋整備するとともに、洋式トイレを設置するなど、子どもたちが安心して過ごせる環境としています。また、放課後児童会で使用しない時間帯には、事前登録した上で地域の方が活用できることとしています。



市が建設を進めている
浜田放課後児童会施設

Q

令和2年4月から供用開始予定の浜田放課後児童会施設の整備状況と、同施設の地域での利用の見通しについてお示しください。



浜田放課後児童会施設について

市民クラブ 木下 靖
きのした やすし

福祉

A

市では、多胎児の保護者を含め育児中の保護者はさまざまな困難を抱えていると考えており、その方の状況に応じた必要な支援が受けられるよう、保育所での一時預かりや民間の家事・育児サポートなど、利用可能なサービスについて情報提供し、支援しているところです。

Q

双子や三つ子などの多胎児の育児はさまざまな困難が伴い、中には車もなく外出すら困難な方もいるため、他都市のようにタクシー券の交付やヘルパーの派遣など、具体的な支援が必要だと思いますが、市の考えをお示しください。



多胎児の保護者の
支援について

公明党 軽米 智雅子
かろまい ちかこ

保健医療

A 市では、仕事を休めずにドナーを断念する方がいる現状は承知しており、ドナーが骨髄提供等のため安心して休暇を取得できる環境づくりがひいてはがん患者への支援につながることから、平成31年4月、企業・事業所のドナー休暇制度導入を推進するために県が立ち上げた、骨髄ドナー助成事業補助制度の活用を検討を進めています。

Q 白血病など血液がん患者の支援に当たっては、ドナー登録の推進に加えドナーが安心して骨髄を提供できる環境づくりが重要と考えますが、市の考えをお示しくください。



がん患者に対する
支援策について

公明党 赤木 長義
あかぎ みつよし

病 院

A 市民病院では、就職説明会への参加、採用試験の複数回の実施等により正職員の看護師の確保に努めてきており、一定数の確保はできていると考えていますが、看護職員全体としては十分とは言えないことから、引き続き必要な看護人材の確保に努めてまいります。

Q 市民病院では、急な休暇や家庭の事情等で夜勤回数の基準を超過する10回の夜勤を行った看護師が、平成30年度は月平均で103人とのこと。看護師の負担軽減のため早急に看護師の確保を図るべきと思いますが、考えをお示しくください。



市民病院の看護師確保について

市民の声あおもり 蛸名 和子
えびな かずこ

病 院

A 市では浪岡病院について、既に病床規模や医療機能の見直しなど、地域医療構想に沿った具体的対応を図ってきたところであり、今回の公表に先んじて浪岡病院のあり方についても整理してきたものであるため、地域の皆様には御安心をいただきたいと考えています。

Q 厚生労働省は全国の公立病院等のうち、再編・統合の検討を要する424の病院名を公表しましたが、浪岡病院が含まれているのは、地域医療構想に沿った市の方針や地域の実情を無視したものと考えますが、市の見解をお示しくください。



浪岡病院のあり方について

日本共産党 天内 慎也
あまみや しんや

議員とカダる会を開催しました

令和元年11月11日（月）に議員とカダる会（議会報告会・意見交換会）を、市内2会場（北部地区農村環境改善センター、荒川市民センター）で開催しました。今回は計28名の皆様に御参加いただき、令和元年第3回定例会に関する議会からの報告と、「防災について」をテーマに、ワールドカフェ形式による意見交換会をさせていただきました。いただいた多くの貴重な御意見につきましては、市議会として今後の活動に大いに生かしてまいります。また、市議会では引き続き、市民の皆様との対話の場の設置に努めてまいります。



北部地区農村環境改善センター会場の様子

お答えします

カダる会当日、会場でお答えできなかった御質問について、抜粋してお答えします。掲載できなかった御質問は、市議会ホームページに掲載しています。

Q 後潟小学校が廃校となった後、避難所としての機能はどうなるのか？

A 統合後の後潟小学校校舎については、地域の皆様の御意見を伺いながら、全市的な公共施設のあり方として、避難所機能を含めた利活用を検討していくこととしています。

委員会の視察結果を報告します

市議会では市政の課題や先進事例の調査を行うため、他自治体への行政視察を行っています。このうち、議会運営委員会の視察（令和元年10月23日～25日）及び特別委員会の視察（令和元年11月5日～6日）の結果について報告します。なお、市議会ホームページでも視察先等の概要を掲載していますので、ぜひごらんください。



行政視察報告へのQRコードです。

議会運営委員会



愛知県岡崎市
議会改革について



愛知県一宮市
議会改革について

議会広報広聴特別委員会



茨城県取手市
議会報告会・意見交換会について



埼玉県越谷市
学生議会・市議会だよりについて

雪対策特別委員会



新潟県十日町市
雪対策について

都市整備促進対策特別委員会



東京都調布市
中心市街地のまちづくりについて

観光・交流対策特別委員会



埼玉県川越市
観光プロモーションについて

編集後記

委員 蛭名 和子

「ぎかいの森」は、余白を大事にし、あえて伝えたい情報を絞って掲載していますが、市議会や議員の活動を少しでも市民の皆さんに知っていただき、議会に関心を持ってもらえるような紙面づくりに今後も取り組んでまいります。また、「ぎかいの森」は点字版や音声版もありますので、周囲の方にお知らせいただければ幸いです。

令和元年第4回定例会の傍聴者は139人で、うち2人から傍聴者の声をお寄せいただきました。令和2年第1回定例会は2月21日開会の予定ですので、ぜひ傍聴にお越しください。